

データ環境推進委員会について

- ◆ データ駆動社会を実現するためには、**明確なビジョンとそれを実現するための技術的基盤**が必要である。
- ◆ また、**デジタル社会の実現に向けた重点計画（2023年6月閣議決定）**において、IPAは、デジタル基盤に関する**標準の策定の機能**が求められている。

IPAについて、米国国立標準技術研究所（NIST）も参考に、**デジタル戦略等における基準・標準機関**として位置付け、これまでの情報処理推進に加え、**国全体のデジタル社会形成の観点から、データ戦略に係る基準・標準の整備を推進**するとともに、**行政・準公共・産業分野のDX推進やデジタル規制改革に必要となるデータ・システムに係る基準・標準の検討を加速し、経済安全保障の観点も踏まえたデジタル産業基盤の強化及びデータ駆動型の新産業創出をリードするための機能強化**を検討する。

- 標準開発機関（SDO：Standard Development Body）的な役割を果たすには、透明性を持ち公正中立な体制を整備する必要がある。
- ◆ 今後の法制化も視野に、データ環境に関する取り組みを推進するため、本委員会を設置する。

◆ 目的

- 日本のデータ環境のあるべき姿について、中長期的な視野かつグローバルな視点から検討し、その技術的基盤を整備・普及することを目的とする。

◆ 役割

- W Gや事務局で作成した計画を審議し、その成果物の審議・承認を行う。

◆ データ環境推進委員会

- 全体方針を検討し、データモデルWGや今後設置するWGに指示をするとともに、とりまとめを行う。結果は関係府省と連携して推進する。
 - 国際・国内情勢の共有
 - ビジョンや優先取り組み事項の明確化
 - 技術的標準やガイドライン群の取りまとめ、内容確認

◆ データモデルWG

- データ環境推進委員会からの指示により、モデル等整備やデータモデル全体の技術的課題について検討する。（別紙：データモデルWG委員案参照）

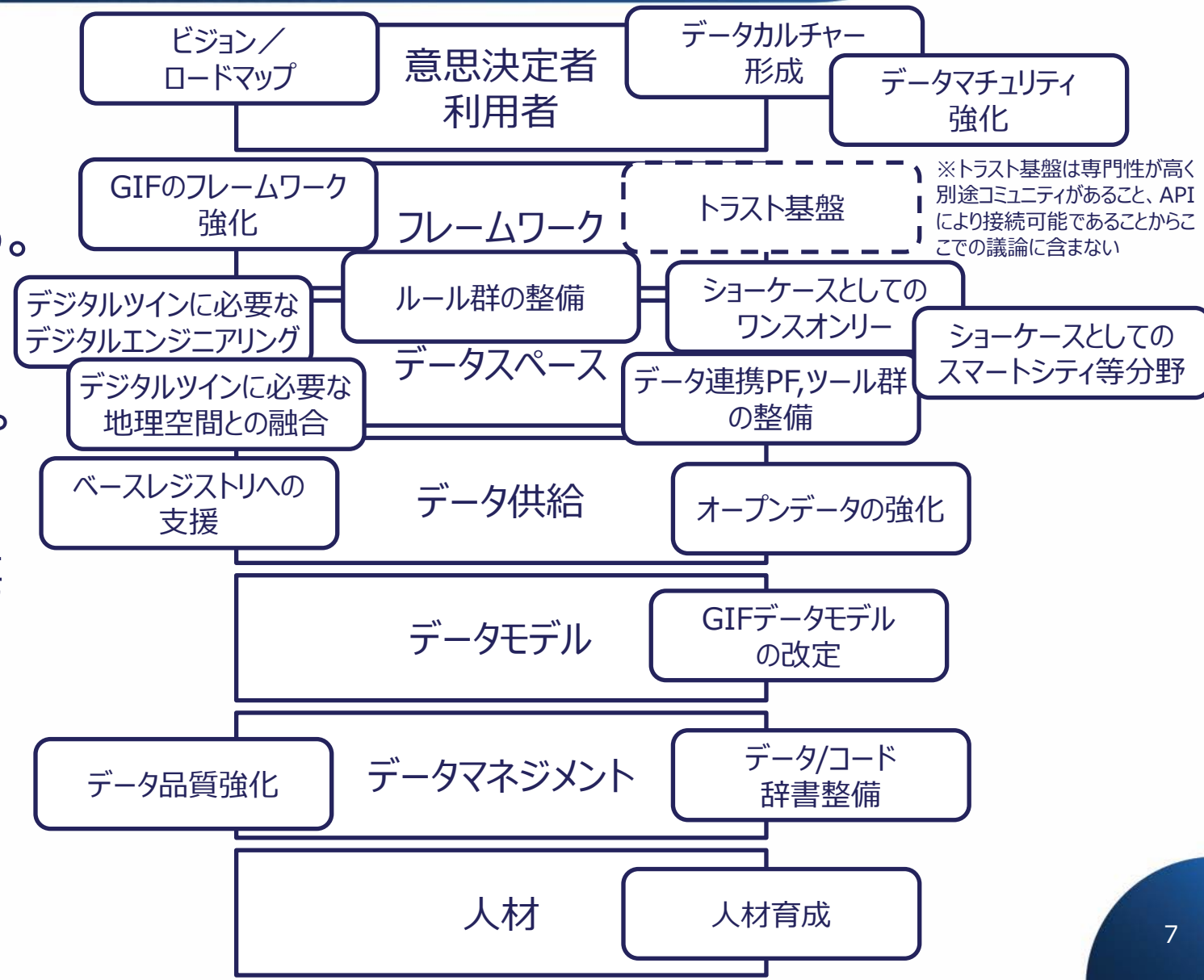
◆ 各分野の専門家により委員会を構成

委員名	所属	主な専門分野
瀬戸 寿一	駒澤大学	地理空間
高木 祐介	株式会社 自動処理	開発
高田 智和	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所	日本語
武田 英明	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所	知識処理
中野 一晃	独立行政法人 国立印刷局	データ管理
西村 正貴	独立行政法人 統計センター	統計、コード、辞書
眞野 浩	一般社団法人 データ社会推進協議会	データ連携

- 全体課題の検討
 - AIやデジタルツインを踏まえたデータ環境のビジョンとロードマップの検討
 - GIFの全体フレームワークの進捗の確認と見直し
 - データカルチャー普及方策の検討（データマチュリティ、GIFの普及）
- 重点分野の推進（標準、基準、ガイドの策定やツール提供）
 - ✓ データスペースの普及（OSSポータル等のツール等の整備）
 - ✓ GIFデータモデルの見直し・普及（GIFとIMIの整合を含む）
 - ✓ データ辞書等の整備
 - ✓ データ品質の確保
 - ✓ オープンデータの推進（技術面からの支援）

全体マップ

- ◆ 日本の現状を見ると、取り組まなければならない課題が山積である。
- ◆ 次ページに主な成果目標を示す。
- ◆ 各分野におけるグローバルな連携も図っていく。



主な成果物

- ◆ データマチュリティガイド (FY2024-1Q)
- ◆ GIFデータモデル改訂版 (FY2024-1Q)
- ◆ 品質ガイド、ツール (FY2024-1Q)
- ◆ ベースレジストリ設計ガイド (FY2024-1Q)
- ◆ ワンスオンリーガイド (FY2024-1Q)
- ◆ OSSポータル[データ解説編] (FY2024-1Q)
- ◆ コード一覧 (FY2024-1Q)
- ◆ データクレンジングツール [IMIツール含む] (FY2024-2Q)
- ◆ データ簡易辞書と国際マッピング (FY2024-2Q)
- ◆ オープンデータ・データ整備ガイド (FY2024-2Q)
- ◆ オントロジ辞書の簡易版 (FY2024-3Q)
- ◆ デジタルエンジニアリングガイド (FY2024-4Q)
- ◆ データ教材 (FY2024各Q3本)

- ◆ 活動期間と予定する開催頻度
 - 期間
 - 2024年2月 ～ 2025年3月
 - 開催頻度
 - データ環境推進委員会 1回/四半期 程度、データモデルWG 1-2回/月 程度
 - 開催地
 - 東京都区内（オンラインによるハイブリッド開催）を予定
- ◆ 委員会議事及び資料は、特段の指定がない限り公開する。
 - 発言は匿名とする
- ◆ 委員会成果は、関係各省に対して積極的に提案を行っていく。

別紙：データモデルWG委員案

データモデルの検討や実装に関する高い知見に加え、従前よりデータモデルの検討に参画いただいた実績から、以下のメンバーを想定。(五十音順、敬称略)

- | | |
|-------------------|-------|
| ◆ 株式会社ティージェイ総合研究所 | 奥井康弘 |
| ◆ フリーエンジニア | 頃末和義 |
| ◆ 一般社団法人リンクデータ | 下山紗代子 |
| ◆ 株式会社自動処理 | 高木祐介 |
| ◆ 国立情報学研究所 | 武田英明 |
| ◆ インディゴ株式会社 | 松澤有三 |